

平成 30 年度 大阪府立河南高等学校 第 1 回学校運営協議会 報告

〔 日 時 平成 30 年 5 月 24 日 (木) 15:00～16:30 〕
〔 場 所 本校校長室 〕

1 校長挨拶

2 協議会委員、事務局教職員の紹介

協議会委員

吉川 測雄 (杉田学園副学園長・大阪学院大学講師)

島 善信 (前 大阪教育大学教職教育研究センター 特任教授)

谷口 省三 (富田林市立第二中学校 校長)

岡澤 潤次 (前 関西外国語大学 教授)

恵島 明 (株式会社「えじま」会長)

道簀 陽子 (PTA会長)

事務局教職員

仲内 一雄 (教頭) 寺田 由香 (事務長) 横山 博次 (首席) 東 文義 (首席)

3 協議会設置要項及び運営計画について

4 協議会会長・副会長の互選

今年度の会長に吉川 測雄氏、副会長に島 善信氏が選出されました。

5 議事

(1)現状報告と(2)質疑応答並びに学校への提言 (◎印：委員、○印：学校)

① 入学者の状況、年間行事等 (倉原教務部長)

○募集定員が 1 クラス減であった。平成 30 年度の志願者数は 417 名、倍率は 1.3 でこの 3 年間で最も高かった。好ましい倍率である。南河内で人気があるが、生徒確保のため、さらに魅力ある学校になるよう日々努力をしていく必要があると考えている。カリキュラムも 3 学年揃った。

○今年度の修学旅行は、海外で 2 班に別れ実施予定である。行程に 1 日のずれがある。

◎カリキュラムの改訂にともない、授業内容やスタイルで河南の特徴を出す必要がある。

② 卒業生の進路状況等 (吉村進路指導主事)

○国公立大の現役合格者は 13 名、浪人 7 名で、地方の国公立大学の合格者が多いのが特徴である。島根大学、秋田大学、室蘭工業大学、帯広畜産大学などである。一方、関大、近大など私立難関大学の合格者は、入学定員の厳格化の影響で減少した。

③ クラブ加入状況について (田仲特活主担)

○クラブ加入率は 89.5% である。2 年生が 84% で最も加入率が低い。柔道部は、規定により廃部になった。体育大会は、生徒の意見を取り入れ、学年対抗から各学年を 3 つに分け、縦割りの団対抗で実施する。

④ 学校経営計画及び学校評価について (校長より)

○ICT 機器の研修会などを実施し、新カリキュラムへ対応した授業ができるよう準備している。学校教育自己診断の結果はほとんどの項目で上昇が見られる。

⑤ 校則について (教頭より)

○生徒心得を HP にアップします。内容、表現について意見を聞かせて欲しい。

◎生徒と議論する機会はあるか。内容は問題がないが、言葉や表現を生徒が分かる文言にするべきだと思う。

6 校長謝辞